

まちの日記帳



歓声に包まれて 保育所生活発表会

11/18

12/10

びくに保育所で40回目、みなと保育所で23回目の生活発表会が11月18日、12月10日にそれぞれ行われました。

日頃の園内での生活の一部を披露する生活発表会には、お父さんやお母さん、地域の皆さんなど多くの観客が見守る中、園児たちは緊張しながらも遊戯や劇、合唱など一人ひとりが毎日の練習の成果を出し切っていました。

会場では園児たちに温かい拍手や声援が送られ、わが子の成長に顔をほころばせていました。



▲びくに保育所 (11月18日)



▶みなと保育所 (12月10日)

成田智世子さんへ小樽海保から感謝状 町には「伊能図模写図」が寄贈

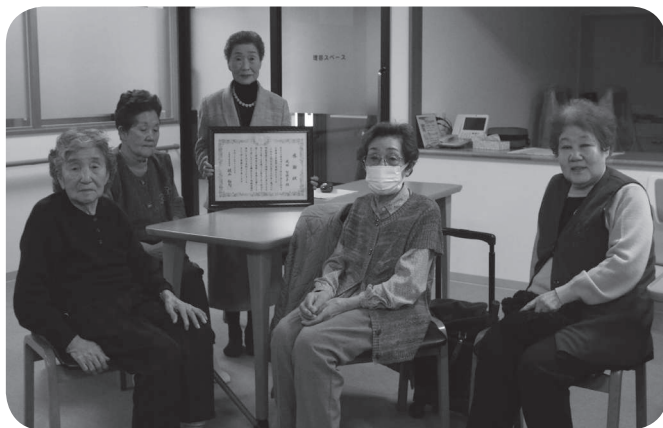
12/5

小樽海上保安部と第1管区海上保安本部、海上保安庁に、それぞれ3句の俳句を寄贈した美国踏青俳句会会長の成田智世子さんに、梶山裕司小樽海上保安部長から感謝状が、特別養護老人ホーム「ゆうり」で贈られました。

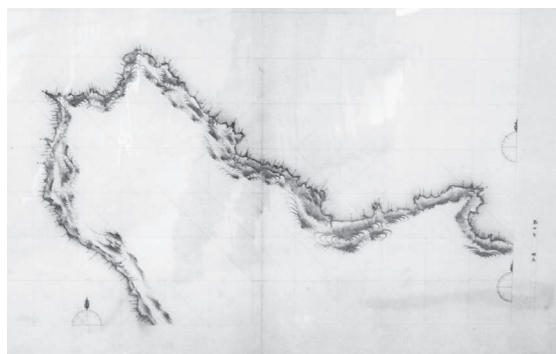
この日は、松井町長、山本町議会議長のほか、成田さんが指導している「ゆうり俳句会」の方々も出席し、成田さんを祝福しました。成田さんは、「俳句がこのような注目されることは少ないので、大変うれしく思います。」と感謝の気持ちを話していました。贈呈式終了後には、寄贈した9句の俳句に込められた神威岬灯台や灯台守の歴史への思いなどを俳句会の皆さんに伝えました。

また、小樽海上保安部から町に『伊能図模写図』が松井町長へ贈られました。

この図は、伊能忠敬を中心とする測量隊が、日本全国の沿岸部を測量して作成した地図「伊能図」を模写したもので、現在の地図と変わらない積丹半島が描かれています。



▲成田さんは左から3人目



▲小樽海保から贈られた「伊能図模写図」

「札幌交響楽団」が演奏

ほくでんファミリーコンサート

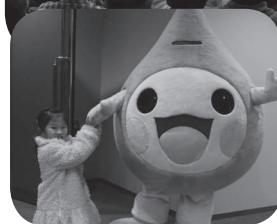
12/6

北海道電力主催の『ほくでんファミリーコンサート』が12月6日、総合文化センターで行われ、210人が鑑賞に訪れました。

このコンサートは、本格的なクラシック音楽を気軽に楽しんでもらおうと、北海道電力が全道各地で開催しています。

平成28年10月の「町制施行60年記念演奏会」に続き、今回も札幌交響楽団を迎え、総勢53人で行われた演奏は、シューベルト「未完成」やドヴォルザーク「新世界」など、アンコールを含む全4曲を披露しました。

北海道唯一のプロ・オーケストラ『札幌』が奏でる素晴らしい演奏に、盛大な拍手が会場を包みみました。



▲素晴らしい演奏を披露した「札幌交響楽団」

◀ほくでんマスコットキャラクター「エネモ」も来場

「夕焼け鳥」にグランプリ

第29回積丹観光フォトコンテスト

12/11

観光協会が主催する「第29回積丹観光フォトコンテスト」の審査が行われ、応募総数235点の中からグランプリに輝いた高橋省三さん（小樽市）の「夕焼け鳥」のほか、4賞28作品が選ばれました。

今回は「積丹の四季」部門、「あなたの思い出に残る積丹の風景」部門の2部門で実施され、道内外の多くの方々から応募をいただきました。

魅力溢れる積丹の風景を写した作品は、3月20日に札幌地下歩行空間で、過去の入賞作品とともに展示される予定です。



▲グランプリ受賞作品「夕焼け鳥」

高橋省三さん（小樽市）

楽しい時間をお届け

美国婦人会・びくに保育所園児が慰問

12/12

12/13

美国婦人会（魚屋友子会長）と、びくに保育所園児によるやすらぎへの慰問が2日間の日程で行われ、同施設入居者とデイサービス利用者が歌や踊りを楽しみました。

施設利用者の皆さんは、毎年行われる慰問活動を楽しみにしており、園児たちによる可愛い遊戯と婦人会の皆さんによる歌や舞踊が披露され、会場は手拍子を打ったり、時には声援を送ったりと、一体となって盛り上がりしました。

同会の地域奉仕活動に感謝します。



まちの日記帳